

まるいん通信

発行 公益財団法人屋久島環境文化財団 電話 0997-42-2911



秋のむらせん上映会

圧巻の歌&映像のディズニーの大ヒット作！！

日時：平成30年9月21日（金）
19：00～20：50

モアナと伝説の海

場 所：屋久島環境文化村センター
映像ホール

入場無料！

申込方法（事前予約が必要です）

申 込 先：0997-42-2900（電話予約のみ）

申込期間：9月14日（金）14：00～（定員に達し次第終了します。）

定 員：先着230名様。車椅子用スペース有。

そ の 他：予約1件につき最大5名様までとさせていただきます。

予約時には入場者全員の氏名が必要です。

入 場 券：電話予約の際に、入場券受取場所【文化村センター（宮之浦）・研修センター（安房）】をご指定いただきますので下記期間内に入場券をお受け取りください。

受け取り期間：9月19日（水）～9月20日（木）

各日 10：00～17：00

※上映会当日に入場券をご持参いただけない場合は、ご入場できませんのでご注意ください。

森のようちえん体験イベント

屋久島子ども森のあそび場

平成30年度11月～3月全4回実施予定

第1回 秋の森 de まったりお散歩の会

11/10（土）9：30～13：15

第2回 森のもの de ウキウキ音箱作りの会

12/15（土）9：30～13：15

第3回 冬の森 de ほくほく焼き芋の会

2/2（土）9：30～13：15

第4回 テント de わくわくキャンプの会

3/2～3（土・日）10：00～翌16：00

9/28（金）9：00～受付開始※先着順

第5回 『屋久島の里を知ろう』展

期 間：9月1日（土）～9月30日（日）

時 間：9：00～17：00（入場無料）

場 所：屋久島環境文化村センター交流ホール

内 容：多くの人に屋久島の里の魅力を知っていただきたく、各集落の文化や行事・史跡等の展示をします。**今回は平内集落です。**ぜひご覧ください。

問合せ：村センター TEL42-2900



【休館日】

村センター 9/3（月）10（月）18（火）25（火）10/1（月）9（火）15（月）

研修センター 9/17（月）24（月）



インストラクターだより

「天高くサシバ舞う秋」

インストラクター 勘場 奈美

屋久島では季節ごとに多くの渡り鳥が見られますが、サシバという鳥の渡りほど迫力のある光景はありません。サシバは小型のタカの仲間で、夏は日本や中国、韓国といった東アジアの国々で繁殖し、冬になると東南アジアやニューギニアといった場所へ渡って過ごします。屋久島では、毎年10月の月上旬にたくさんのサシバたちが南に渡る様を見ることができます。

渡りでは、休むことなく長距離を飛び続けるため、たくさんのエネルギーが必要です。サシバは、上昇気流の風に乗ることで空高く舞い上がり、体力を温存しながら一気に遠くまで飛んでいくことができます。上昇気流は山の斜面に沿って生まれることが多く、サシバたちは自然と上昇気流のあるところへ集まってきます。そうやって集まった多くのサシバたちが渦を巻くように上へ上へと飛んでいる様子を「タカ柱」と呼びます。ときには100羽を越えるサシバたちが一団となって飛び交う様は、まるで一つの巨大な生き物のようにも見え、大自然の雄大さを感じさせてくれます。そのようにして天高く舞い上がったサシバたちは、迷いなく一直線に海の向こうへと渡っていくのです。

屋久島は、日本国内や朝鮮半島で夏を過ごしたサシバたちが、渡りの中継地としている非常に重要な場所です。多いときで一日1,000羽以上のサシバの渡りを見ることができます。

秋のよく晴れた日には、ぜひ山の斜面を見上げてみてください。言葉では言い表せない感動的な光景が広がっているかもしれません。



サシバ (写真提供：神崎真貴雄様)

財団活動報告

☆夏休みの大冒険 in 屋久島 (8月7日～10日)

総勢18名の子どもたちと一緒に、夏の屋久島に大冒険に行きました。最初は初めて会う人ばかりで緊張していましたが、4日間の中で共に山登りやイカダ作り、川下りなどの活動を通し、「仲間と一緒に楽しめた」「貴重な体験ができた」と、大冒険を満喫していました。ご参加ありがとうございました。



☆鹿児島大学留学生ホームステイ

8月25日から27日に、鹿児島大学の留学生を対象としたホームステイを実施しました。

留学生たちは、ホストファミリーと、屋久島の自然を満喫しながら、屋久島の家庭生活を体験しました。

お別れのときは、留学生、ホストファミリー共に涙を流す方もいて、素敵な時間を共有した3日間でした。



連載 ～屋久島を想う～

事務局長 松村 藤夫



4月に赴任してきて5ヶ月が過ぎようとしている。島での生活は、今回が3回目。

過去、沖永良部、大島とそれぞれ3年間過ごしてきた。それぞれに思い出深いものがある。

屋久島は、過去2回ほど仕事で訪れたことがある。トッピー乗り場と屋久島事務所を往復しただけで、屋久島に上陸してすぐ帰った感じではあったが、送迎の車窓から風景を見ていて、前岳が迫ってくる感じを受けた事を覚えている。

テレビや雑誌等で、屋久島が紹介されている番組や記事などを見た時に、「世界自然遺産」の屋久島にゆっくり時間をとって訪れたいと思うことはあっても、私にとっては近くて遠い島だった。

ありがたいことに今、その屋久島で島民の一人として、屋久島の自然や文化、歴史に深く関わる財団の業務に携わっている。

